

# 令和8年度 予算審査 特別委員会

詳しくは  
こちら



# 議員は予算のココに注目!!

予算総額62億7,686万円 総額はほぼ横ばい

3月11日から12日の2日間にわたって令和8年度会計の予算審査特別委員会が行われ、一般会計他4つの特別会計・浄化槽事業会計・水道事業会計を含む予算議案を可決しました。

※金額は四捨五入表示。

※問・答は、内容を要約し、全体から抜粋したものを第6次総合計画のまちづくり項目の順番で掲載しています。

令和7年8月  
アワビ陸上養殖事業  
について常任委員会  
で調査しています。

詳しくは  
こちら



**答**  
5万個購入し  
試験も継続

30ミリ種苗5万個を購入し、まずは現在の施設で飼育する。北日本水産方式の試験も継続し、成長状況を見ながら今後の方式を判断する。

**問**

アワビ種苗は何個購入する予定で、今後の飼育方式をどう考えているのか。(佐藤議員)

**問**

アワビ陸上養殖、  
今後の方針は

●漁業の振興

産業を活性化し、  
地域資源を活かす  
まちづくり

農業生産法人を進めるのなら、農地確保や法人化の道筋をはっきりさせるべきではないか。  
(熊野議員)

**問**

農業生産法人、  
設立への道筋は

●農業の振興



R 7.10.23 北日本水産社長との懇談後、アワビ陸上養殖施設を視察しました。  
(左：北日本水産方式、右：福島町方式)

入館料の引き上げは小中学生も対象となる。入館者数は今年度実績を踏まえ、来年度も1万人を超える利用を見込んでいる。

**答**

小中学生も対象

**問**

入館料改定対象は

両記念館の入館料改定は小中学生も対象か。また、来年度の入館者数をどの程度見込んでいるのか。(小鹿議員)

●観光業の振興

**答**

農地確保を進め  
法人化も視野

まずは農地確保を進め、そばを中心とした生産基盤づくりに取り組む。必要な規模を見極めながら、法人化も視野に入れて準備を進める考え。

次世代を育成し、  
つながり、学びあう  
まちづくり

●子育て支援の充実

**問**

保育所定員、  
受け入れ体制は

保育所の定員40人に対し入  
所予定が41人となっている  
が、受け入れに支障はないの  
か。あわせて、今後の保育士  
確保は大丈夫か。(藤山議員)

**答**

園全体で調整し対応

認定こども園は、保育所部  
門40人、幼稚園部門20人の計  
60人定員で、全体としては定  
員内で対応している。4月に  
は正職員1人の採用予定で、  
当面の体制は確保できる見込  
み。



**問**

登校しづらい子への  
支援は

学校に通えていない、又は  
通いづらい子どもに、どのよ  
うな支援を行っているのか。  
(藤山議員)

**答**

学校と教委が  
連携し対応

学校による家庭訪問や手紙  
のやり取りに加え、教育委員  
会の指導主事らも関わり、別  
の場所での学習や活動支援な  
ど、子どもが学校とのつなが  
りを失わないよう対応を続け  
ている。

福祉・医療が充実し、  
互いを認め合える  
まちづくり

●高齢者福祉の充実

**問**

生活支援ハウス、  
空き要因は

生活支援ハウスは定員20人  
に対し入居が12人とどまっ  
ているが、施設の老朽化と関  
係しているのか。(杉村議員)

**答**

老朽化と  
空き状況は別問題

老朽化と入居人数は直接関  
係なく、空きがあることが改  
修理由ではない。入居者募集  
は広報などを通じて引き続き  
行っていく。



議会は生活支援ハウスも視察しています(令和6年度経済福祉常任委員会にて)

生活基盤が安定し、  
安心安全に暮らせる  
まちづくり

●生活基盤の確保

問

地域間幹線バス、  
支援の考え方は

地域間幹線バス木古内松前線への支援は、どのような経過で決まり、負担割合はどう算定したのか。  
(溝部議長)

答

四町で支え

路線維持へ

木古内松前線は赤字額が大きく、運転手不足も重なって維持が厳しい路線となっている。今後の運行維持のため、沿線四町で支援することとし、人口・距離・均等割を各3分の1ずつ組み合わせて負担割合を決定した。

バスの支援金はいくら？

令和7年度分として  
753万円を3月会議で補正。  
※令和8～9年度分は  
各年度800万円を計画に計上。



一人ひとりが協働し、  
持続可能な  
まちづくり

●移住・定住の支援

問

U・Jターン就業  
支援の実効性は

U・Jターン就業支援事業は町内企業の登録がないまま実効性があるのか。今後の進め方は。  
(木村議員)

答

企業への

働きかけを継続

制度開始時に事業者へ声かけはしたが、登録には至らなかった。今後は改めて企業への周知と働きかけを行い、制度の活用につなげたい。

●行財政運営の推進

問

国の制度見直し、  
町の財源見直しは

高校無償化や給食費無償化など、国の制度見直しを踏まえた町の財源見直しはどう見ているのか。  
(溝部議長)

答

国補助反映、  
交付税も一定見込む

高校無償化については当町の高校は道立高校であり、町の歳入歳出に直接影響するものではない。小学校給食費への国補助は予算に反映済み。普通交付税は前年度実績並みで計上しつつ、国の増額方針による上振れも一定程度見込んでいる。財政調整基金は年度末で12億円台半ばを見込んでいる。

# 令和8年度各会計予算総額

会 計 名		令和8年度	令和7年度	増 減	増減率(%)	
一	般 会 計	45億5,468万8千円	45億2,425万4千円	3,043万4千円	0.67%	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	6億9,117万7千円	6億6,217万円	2,900万7千円	4.38%	
	介護保険 特別会計	保険事業勘定	5億2,847万円	5億2,113万2千円	733万8千円	1.41%
		サービス事業勘定	163万9千円	163万9千円	0円	0%
	後期高齢者医療特別会計	1億460万8千円	7,987万3千円	2,473万5千円	30.97%	
	国民健康保険診療所特別会計	1億2,714万8千円	1億2,617万2千円	97万6千円	0.77%	
水 道 事 業 会 計		1億8,885万3千円	2億691万5千円	▲1,806万2千円	▲8.73%	
浄 化 槽 事 業 会 計		8,027万9千円	7,725万5千円	302万4千円	3.91%	
予 算 総 額		62億7,686万2千円	61億9,941万円	7,745万2千円	1.25%	

## 令和8年度 議会費の使い道

議員歳費の増額等により  
前年度より1,044万円の増額

区 分	令和8年度	令和7年度	概 要
報 酬	2,884万3千円	2,594万2千円	議員歳費、諮問会議委員報酬
給 料	1,552万円	1,483万4千円	事務局職員4名分（内会計年度任用職員1名）
手 当 等	2,081万5千円	1,467万円	議員・事務局職員の期末手当
共 済 費	1,759万3千円	1,647万9千円	議員・職員共済費
報 償 費	10万円	10万円	専門的知見謝金（審査・調査）
旅 費	201万8千円	244万9千円	議員・事務局の出張に係る旅費ほか
交 際 費	20万円	20万円	慶弔費ほか
需 用 費	139万円	137万4千円	議会だより印刷製本費、消耗品費ほか
使用料・賃借料	124万1千円	123万6千円	ペーパーレス会議システム使用料ほか
負担金・交付金	165万円	164万6千円	各加入団体負担金、政務活動費ほか
合 計	8,937万円	7,893万円	*町予算書では、事務局職員4名分の給料等が、「職員・会計年度任用職員給与費」に計上されているため、この表の予算額と一致しません。

### 町の財政は大丈夫？

近年大きな事業が続き、「町のお金は大丈夫？」という声があります。今年度予算総額は前年度とほぼ同規模で、借入額は減っていますが、借金返済にあたる公債費や物価高騰による経常経費が増えており、今後も注意が必要です。

### 財政調整基金って？

町の財政における貯金のよくなもので、急な支出や年度ごとの調整に使われます。適切に使用するのには問題ありませんが、極端に減り続けると将来の備えが弱くなってしまう。

令和8年度予算では、一般会計は前年度とほぼ同じ規模で、財政調整基金も引き続き活用していますが、借入額は前年度より減っています。

議会として、今後も町の財政状況を注視していきます。